

私は生まれ
たて 爰を伝えるために

この映画は、聴覚障害に加えて、知的障害や精神障害を併せ持つという過酷な「ハンディ」を背負った子供たちの成長を願う親の苦闘、喜びと悲しみの姿のなかに、ひたむきな生きる姿勢の尊さを描く。

「ヒューマン・ホームドラマ」です。更に、障害者の問題と

婦や親子という家族の意味、

この映画は、

改めて問いかね、「人間」

が、すっかり定着してき

たようです。

（成田）

去る、7月21日(月)けやき作業所、建設委員会が開催され、けやき作業所、施設・拡充・支援事業オーディオ「どんぐりの家」の上映会に向け、討議がなされました。

この映画は、聴覚障害に加えて、知的障害や精神障害を

併せ持つといふ過酷な「ハン

ディ」を背負った子供たちの成

長を願う親の苦闘、喜びと悲

しみの姿のなかに、ひたむき

な生きる姿勢の尊さを描く。

（成田）

この映画は、

改めて問いかね、「人間」

が、すっかり定着してき

たようです。

（成田）

この映画は、

改めて問いかね、「人間」

8月 カレンダー

- 2日(木)指導會議
 3日(金)日曜
 9日(木)買物訓練
 10日(金)
)夏期休暇
 17日(金)
 23日(木)職員會議
 24日(金)日曜
 30日(木)休所日
 31日(金)日曜



平成9年度施設整備国庫補助金交付(内示)のお知らせ

皆様に於かれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、懸案の「けやき作業所の増員及びデイサービスセンター新設に係わる平9年度施設整備費国庫補助金」につきましては、その推移を逐次お知らせしてきたところですが、去る29日、公式に障害福祉課より「復活折衝の中で第3次内示に入った。」との情報を得ました。補助金交付は2年度にわたるもので来年の中頃には開所できるものと思います。以上、取り急ぎご報告いたします。

関係者の皆様にはご心配をおかけいたしましたが、いよいよ開所に向けての諸準備を、特に財政的な取り組みが急がれます。芳賀地域の障害者福祉にいささかでも貢献できるよう職員一同決意を新たにしているところですが、けやき作業所に対する皆さまのご協力ご支援を旧来に増してお願ひいたします。

平成9年7月30日 けやき作業所
あすはご報告会で。

※・社会福祉施設の建設補助金交付状況(参考資料)					
	(件数)	(金額)	(件数)	(金額)	(件数)(金額)
合計	3,903	205,081	3,552	176,665	3,485 196,761
障害福祉施設	562	29,462	477	27,304	359 23,763
老人福祉施設	434	146,726	2313	126,497	2,470 150,193
児童福祉施設	831	22,010	697	18,287	596 19,760
保護施設	76	6,883	65	4,557	60 3
	1,995年度		1,996年度		1,997年度



1997年8月6日(水)
-発行- 第206号
こぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

毎年、仲間が主人公

内容はと言いますと、やはりメインは食事づくりとハイキング。自分たちでやりたい事は、自分たちでやるよう話し合いました。当 日はこぶしらしく雨だった ので、計画通りにとは行きませんでしたが、保護者の理解を得、仲間の活躍の場として定着しつつあります。2日目のハイキングも、昨年山登りが感動的だった為かやる気満々で、当日は気分杜撰の戦場ヶ原を皆で歩きそのうち約半数の人があまりのコースをほろかに越え時間オーバー混乱するほ

2泊を通して感じたのは仲間が主人公となるにはたらぎ時間が必要なんだなということです。当り前のことですが、今まで行事のワクに気をとられ内容ひとつひとつは仲間と意識しつつも全体の仲間のペースに合ったスケジュールでない何が限界をつくさいたような所をしなくていいかしました。

仲間の挑戦が貴重なことを教えてくれた今年のキンドでした。足尾の自然も満喫できました。泊組の感想は言うまでもなく「また2泊やろうね。」気持ち良かった。最高

天気はもちろん、不チ際もありましたが、特に初めて参加してくれたボランティアさん

ンに沿って各自治体でも障害者アランを創り始め、県もその指導に入力を入れ始めて、ただけにシップは計り知れないと、厚生省には日夜全国からの期待を背負い、各県の担当職員が陳情に訪れている。施設整備費の縛りは今後3年間位いは続くとの見通しを厚生省ではしているらしいが、来年の予算編成では早くも赤字国債減らしのための50億円の社会福祉を含む社会保障費の削減が伝えられている。(自然増8000億円・来年度の伸びは3000億円)ならない。参考の表を見て分

ちじまつてある。老人施設へいた
てはか所数も金額も拡逓に出し増
加傾向にある。全ての割合障害者
がかぶつてゐると言つてゐるを得ない。
事実今復活折衝で設備が認め
られる施設の財減は老人施設
整備費の残り40億円だといふ
ことである。資本主義最後の課
題といわれる障害者問題の夜
明けは更なる私達の力の拡大
を必要としているようだ。

今原稿を書いて、ところへ、
障害福祉課からけやき作業所
がオヨ次の内示に入つたとの連
絡がくる。漏れた人達への申
し訳なさが残りつつも関係
者の一通りでないこ努力に感
謝したい。
(高橋)

のキャンプを実施していま
すが、また新たに「仲間の
キャンプ」を実感できる取
り組みができました。

今回も立候補した仲間10
名で美行委員会をつくり、
自分たちのキャンプ企画
しました。場所は足尾町の
銀山平。^山遠くて涼しく
て、平らな所^山が決定した
理由です。キャンプ場全体

いうことで、仲間7名、保護者2名、ボランティア3名、計13名の2泊組となりました。2泊組は特にこれをやるというスケジュールも決めず、露天風呂に入ろうと計画していくが、ハイキンゲで疲れ中止のんびりとした霧園気の中、おいしい肉をたらふく食べ野球をやったりして過ごしました。3日目も天気に恵まれ最高でした。

リ、ファイヤーに力を入れようという主旨で実行委員の仲間たちがあれこれ考えた結果、合宿キャンプを計画しました。高原・南那須賀少年自然の家が候補にあり、下見に行つたところ近いと

金通のボランティアの方、仲間も競い合い、どのグループがこしがあるか? 等と、必死に粉まみれになつて、いました。ボランティアの金通の方々には大変お世話をなりました。

と歩きました。そして今回初の試みとして、2泊を実施しました。実行委員会の中で、「温泉があるので、きれいなバンガローに泊まるんじゃ2泊したい」とセツカく行くんだから2泊まりたい」との声が多く、

ごくうつまでした。そして実行委員はじめ仲間のみなさん来年も大いに楽しもうね。それにしても肉うまかったナア。

ところで南那須へしようと決定しました。一日目は生憎雨でハイキングに出かけたものの途中戻ってきてしまふが夜のカレーづくり、キャンプファイヤーもどき、キンドルサーキスは歌や踊りありと豪華版